

令和3年度 第3回政策推進会議報告

日 時 6月10日 13時30分～15時00分

場 所 WEB会議室

出席者 19人

1 尼崎市男女共同参画計画（第4次計画）に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

総合政策局長から資料に基づき報告。

2 尼崎市人権文化いきづくまちづくり計画（素案）に対する市民意見公募手続の結果及び同計画（案）の策定について

総合政策局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

・（市長）計画案7ページのとおり、この計画は4つの柱で成り立っている。3つめの「あらゆる場における人権教育及び人権啓発の推進」、4つめの「市職員・教職員等への人権研修」、この辺りについては基本の型をこれまでもしっかりやってきたが、計画策定を機にもう少し内容を精査し充実を図っていききたい。研修内容や教育プログラムの具体的な題材を見直すことも必要だが、より基本的な「人権ってなんですか」ということに着目する必要がある。昨今では思いやりとか優しさといった抽象的な概念としてイメージされていることが多いが、人権というのは例えば「表現の自由を行使する権利」とか1個1個具体的にリスト化されていて、それは「世界人権宣言」にきっちり書かれてあり、「世界人権宣言」は「じんけんまなぶ本」にわかりやすく書いてある。市の幹部である私たちがしっかり共有していないと、組織や地域への浸透を目指すのは難しいので、まずは皆さん「じんけんまなぶ本」を必ず読んでいただきたい。

また、人権に関する学習教育と、実際にその人権を確保するための様々な支援策、つまり計画案7ページの2つめの柱「人権侵害に関する相談と支援の充実」について、例えば障害のあるなしに関わらず他者とのコミュニケーションを図るためのいろいろなサポートなど、不適切なことを防いでいくための法整備や支援策を進めていくことも非常に大事である。人権というのは非常に長い人類の歴史の中で到達してきた概念であり、それを具現化するため、私たちは非常に重い責務を負っていることを改めて認識して引き続き頑張っていきたい。これに関しては職員研修も実施していこうと考えているので、幹部職員もぜひ受講してもらうように段取りしたいが、一方で個人的な問題意識として、やはり政治的なイデオロギーや、社会の変化というものも当然この人権のあり方に大きく影響しており、私たちは今自分たちがどういう時代に位置しているのかということのを常々勉強しておかないと、人権を守ることが難しくなる。例えば社会教育の分野では政治的中立ということがよく言われるが、それを強く意識しすぎるあまりにこういったことの勉強がおろそかになり、思考停止状態を招くと、人権が守られなくなってしまふ。公民館を市長部局に移し、生涯学習プラザにおいて教育委員会とも連携しながら人

権学習を引き続き進めていくこととしているタイミングでもあるので、人権施策については様々な側面から充実、見直しを図っていききたい。

3 尼崎市空家等対策計画の改定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・(市長) 今後はこのプロセスと並行し、もう少し具体的な課題認識を整理した資料をご提示しながら審議会の先生方にも意見をいただき、計画の改定に盛り込んでいく。新しい視点からの意見がこの熟度の低い段階で出てくればありがたいが、本件は専門的な分野でもあるため、業界や関係者の皆さまとしっかり意見交換しながら改定作業を進めていきたい。空き家に関する大規模な調査が5年に1回で5年後にしか詳しいことがわからないのも辛いところで、もう少しリアルタイムに状況を把握したり、その情報を活用したりできる取組みを考えていきたい。例えばこういうハード整備と福祉分野との連携とか、地域の現場との連携とか、局を超えた取組みにつながっていくと思うので、よろしくお願ひしたい。

4 その他

○総合政策局長から尼子騒兵衛展について説明。(以下、質疑等)

・(経済環境局長) 尼子騒兵衛展と同じ期間の7月17日から9月26日までの間、尼崎城の中でも関連の展示を予定している。展示以外にも子どもを対象に忍者のコスプレでお城の中を歩くウォークラリーのようなものの実施を予定しており、期間中の人流や、お客様がどういったところにお金を落としているのか、簡単なアンケートも予定している。

・(公営企業局長) 尼子騒兵衛展に関連して、下水道のデザインマンホールを展示したいと思っている。今回は久々知兵助をデザインしたデザインマンホールを展示するとともに、近松公園周辺で1ヶ所、久々知兵助のデザインをしたマンホールも設置したいと考えているので、尼子騒兵衛展に行かれたときに、デザインマンホールも見てください。

・(総務局長) 尼子騒兵衛展については、7月から職員厚生会の窓口でも前売り券チケットを販売する。またお知らせするがよろしくお願ひしたい。

○総合政策局長からアート@シビック・ロビーについて説明。

○経済環境局長から「尼崎市気候非常事態行動宣言」の表明及び「給水機設置によるマイボトルの普及促進事業」について説明。

・(市長) すでに通知しているとおり、会議でのペットボトルの利用は原則控えていただきたい。なお在庫がある場合は破棄するという話にはならないと思うので臨機応変にお願ひしたい。飲料メーカーでもビニールシート部分がほとんどないペットボトルだとか、一見ペットボトルに見えるが土に帰る成分を混ぜ込んで極力マイクロプラスチック問題に繋がらないような素材に変えていこうとか、いろんな取組みが始まっている。ファシズム的にペットボトルをひたすら撲滅するという極端なことではないが、意識的に学習の機会を設定していくとともに、エコ

な素材の活用が当たり前になっていく社会を、私たち自身の消費行動を通じて作っていきたいと思っているのでご協力をお願いしたい。

○都市整備局長から小田南公園整備事業（阪神タイガースファーム施設）について説明。

・（森山副市長）この取組みは単に公園を再整備するというだけでなく、整備後にこの公園で健康作りや防災の取組みを行うなど、他部局にも関わる事業なので、全庁的な協力をお願いしたい。それから一部新聞報道等において、小田南公園が阪神タイガースの野球場になってしまうかのような表現をされているが、資料の図面でも示しているように、今回の事業は民間活力を導入して公園を再整備するという新しい事業スキームであると考えている。今後は大阪城公園やてんしばのような形で民間活力を導入した公共施設整備が進んでいくと思うので、尼崎市での事例として推進できるよう、関係局とともに頑張っていきたい。

・（市長）ユニチカ記念館の移転に係る報道で、兵庫県とユニチカさんとの話の中で、その候補地に小田南公園が挙げられているとのことだが、もし、そういった話があるのであれば、今回のファーム計画についても、県に報告しておく必要があるのではないかな。

・（森山副市長）今回の事業を進めるにあたっては、国庫補助の関係もあるため、都市整備局から県の関係部門に説明をしているが、文化行政という視点になるとまた別の話になるので、その辺りは教育委員会とも情報共有し、庁内連携して一体として説明できるようにしていく必要があると考えている。

・（経済環境局長）県への説明について、昨年議会へ説明していく際に県民センターへの説明は行っている。

・（市長）引き続き、兵庫県の各部門にも情報共有をお願いしたい。

・（市長）ワクチン接種推進について、今後の基礎疾患のある方も含めた64歳以下への接種にあたり、抜本的な体勢の組直しを行いたいと思っている。具体的には明日資料が出せると思うが、本部体制を組み、市長を本部長、副本部長には両副市長と医務監に就任いただき、各局長級を本部員メンバーとすることを考えている。また保健部長とは別に、部長級を1人追加し、その下に現在ワクチン接種の推進に当たっている3課長を充てるほか、係長10名一般職16名を加えた30人規模の本部事務局という形にしたいと思っている。大きなポイントは、保健所の業務を全庁的に手伝うという体制ではなく、全庁的な本部を立ち上げて、もちろん保健所を含めた健康福祉局の周辺に担っていただく役割は大変大きいですが、保健所だけでなく私たち全員がこのワクチンの推進にあたる本部員になったということで、ワクチンに関してはもう手伝う手伝われるという関係ではなくなるという風にご理解いただきたい。年度途中で本当に恐縮だが、人的応援を含め主体的な協力取組みをお願いする。ただ、これだけ人を出すと、予定していた通常業務に当然影響が出てくると思うが、どうしても止められない業務以外は大胆にストップして、この夏はワクチン接種推進にご協力をいただきたいと思います。

以 上